

学期末評価（教育通信）の例

個別の指導計画に位置づいている個々の課題や指導目標に即して何をどのように指導したのか、その結果どのような成果と課題が見られたのかを具体的に記載します。

No. △△学校 年 ()

平成 () 年度 ○○学校 () 通級 () の記録

【 学期の様子】

指導のねらい 自立活動の項目内容	指導の結果・今後の課題
<個別課題> 「お話大好き」 状況を正しく判断して、適切な言葉で分かりやすく伝えることができる。	前学期の「5W1H」の取り組みから順序立てて話すスキルが向上したため、次の段階として、相手の反応を確認しながら分かりやすく話すことを目標に取り組みました。伝言ゲームで○さんが伝えたことが相手にうまく伝わらなかったときの解決法として、別の言い方で伝えてみたり、誰もが知っている物に例えて「～のように」と表現したりする方法を担当者から提案しました。語彙が豊富であるというよさを生かし、様々な言葉で言い換えたり例えて表現したりすることで、相手に伝わりやすくなったことを実感しました。この成功経験に基づき、身に付けた方法を使って相手に分かるような話し方をしようと工夫できるようになりました。
2-(2)状況の理解と変化への対応 2-(3)学習上又は生活上の困難を改善・克服 4-(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況把握 6-(5)状況に応じたコミュニケーション	
<個別課題/ペア学習> 「なっとくできるかな」 「たがいに気持ちよく」 自分で納得できない時に、どのように解決したらよいかを考え、自分も相手も気持ちよく解決することができる。	友達とのコミュニケーションの中で困難が発生した場合、その原因を考えて適切に対応する学習に取り組みました。自分は丁寧に伝えているつもりなのに相手がかたくなに伝わらないという場面で、相手の聞き方に問題がある場合と、自分の説明の仕方に問題がある場合を設定し、その時にどんな気持ちになるかという自己理解を踏まえ、その気持ちをコントロールしてどのように対応したらよいかということロールプレイングやペア学習でのやり取りを通して学習しました。相手の様子から困難の原因を考え、うまく伝わらなくても怒って相手を責めるのではなく、話を聞くよう相手に伝えたり、自分の説明の仕方を変えたりすることで、困難が解決できることを実感しました。これからも言葉で解決できるように支援を続けます。
2-(2)状況の理解と変化への対応 3-(2)他者の意図や感情の理解 3-(3)自己の理解と行動の調整 4-(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況把握 6-(5)状況に応じたコミュニケーション	

【通級指導日・指導時間】

週	回	曜日	時	分から	時	分
---	---	----	---	-----	---	---

【出席の様子】

学期			
月	月	月	月
回	回	回	回

設置校 学校長	通級教室 担当者	在籍校 学級担任	保護者
------------	-------------	-------------	-----

個別の指導計画に基づき、自立活動で重点的に取り扱った学習内容（区分、項目）を記載します。
このことにより、実態を踏まえた指導内容が明確になります。

教育通信は児童生徒の様子や学習状況について保護者、在籍校、通級指導教室設置校が共通理解して指導していくために必要なものです。
指導の成果と課題を共有し、必要に応じて個別の指導計画の修正、今後の指導改善を行います。